

ふりがな 氏名	なかに えいさく 中谷 栄作	都道府県 和歌山県	
所属/肩書	<ul style="list-style-type: none"> ・橋本市立あやの台小学校 教諭（ESD主任） ・和歌山県シニアリーダーズクラブ HOPE 会員 		
私のESD活動	ものごとを自分事として考え行動できる「未来の大人」の育成を、小学校現場や社会教育現場で進めています		

活動の概要（特に、取り組みの独創性、革新性、成果について説明してください）

小学校の総合的な学習の時間にエコマートを行っています。子ども達で会社を組織し、社長・会計・広報部長なども設定し、実際に理念の策定、商品開発・販売、利益の使い道の決定まで行うものです。

会社が取り扱う商品は、まず無農薬栽培をした有機野菜。子どもたちが地域の農家さんたちに指導していただきながら、朝夕自発的に農業に取り組みました。食育とも組み合わせ、貧困問題について調べたり、生ゴミの多さから食べ残しゼロを呼びかけたり、堆肥化に取り組んだりしています。年度末には郷土料理を教えてもらい、自分たちの育てた野菜を使ってお世話になった方々に振る舞い、地域とのつながりも生まれています。

ほかにも、リサイクル手芸品（ペーパービーズを使ったアクセサリや、傘の布を使ったエコバッグ）を扱う会社や、リサイクル・リペア木工品（廃材や間伐材からできた写真立てや、壊れたイスを修理したもの）を扱う会社を作ってきました。2013年度～2015年度まで3年間前任校で取り組み、3年間で15万円を売り上げ、ユニセフや緑の募金に寄付してきました。今年度から赴任した学校でも、すでに販売活動に取り組み始めています。

いずれの活動においても、製作・販売・発信の場で、たくさんの地域の方々との交流し、年を経るごとにサポーターは増えていき、食農プロジェクトとして、学校をサポートするチームもでき、これから地域の方で成長していくカリキュラムになっています。子どもたちにおいても、学習したことを凝縮ポートフォリオにまとめ、校内で発表したり、いろいろな場で地球環境を守るためにできることを多くの人に発信したりしてきました。

○「橋本市立あやの台小学」 <http://www10.schoolweb.ne.jp/weblog/index.php?id=hashimoto34>

○「橋本市立紀見小学校」 http://www10.schoolweb.ne.jp/weblog/index.php?id=hashimoto01&type=2&date=20160331&category_id=670

ESD活動をさらに深めるために、今後どのような活動を展開していこうと考えていますか？またESD全体（地域や日本国内、国際）の発展にどのように貢献したいと思いますか？

(1)他府県の学校との交流・・・他の学校と自分自身、そして子ども同士が交流することで、自分たちのしていることを客観的にとらえる機会を増やし、活動の中身を深めていきたいです。（現在熊本市内の学校と交流し、防災教育を進めています。）

(2)未来の大人である、今の子どもたち。その受け皿となる社会を理解しながら、社会をデザインしていく役割を担う・・・子どもたちが将来に課題意識をもちながら、希望をもつ。これこそがESDを進めていくうえで目指すべき児童像であるように思っています。そうした希望（自信や喜びなど）を強く感じられるような学びを、社会とつなげながら実現していくために、私自身が社会の現状や動向について理解を深めたいと思っています。そのために他の職種の方と連絡をとって、いろんな意見をもらうようにしていますし、保護者の方々に忌憚のない意見を言ってもらえる場をつくり、これからも教育実践を進めていきます。そうして社会を構成する大人との対話を通して、社会を子どもにとって身近で素敵なものにしたいと思っています。

(3)エコマートの普及と推進・・・子どもたちがお金の価値を知ること、この消費社会にとって大切なことであるし、働く体験を通して、勤労や社会貢献に対する意欲を高めることも重要だと考えています。橋本市内でエコマート（起業家教育＋環境教育＋国際理解教育）を行うように、活動の良さや方法について発信していきたいと考えています。